

しおじり

平成20年1月15日

No. 163

12月定例会号

市議会だより

わがまちの名産:「木曾漆器」(木曾平沢)

400年を超える歴史をもつ木曾漆器。受け継がれてきた伝統の技は、現代も職人の手によって生きている。



新年を迎え皆様のご健勝とご多幸を
お祈り申し上げます。

中	白	古	永	太	柴	丸	中	五	今	鈴	中	小	青	森	永	金	古	石	牧	山	金	塩	中
原	木	厩	田	田	田	山	村	味	井	木	原	野	柳	川	井	田	畑	井	野	口	子	原	野
輝	俊	圭	公	茂	寿	東	英	明	巳	光	充	雄	泰	興	秀	新	直	恵	勝	政	長		
明	嗣	吾	由	実	博	子	努	條	雄	子	年	明	茂	三	仁	一	夫	吾	樹	子	寿	治	勲

議 副 議
員 議 長
長

新年のごあいさつ



議長 中野長勲

新年あけましておめでとうございませう。

皆さまには、健康で希望に満ちた新春を迎えられたことをお慶び申し上げます。

迎えました平成20年は、国の内外とも大きな変革の時期に遭遇しており、少子高齢化社会の進行、教育問題等諸課題が山積しており、正に行政の真価が問われている時代と言っても過言ではありません。

昨今の地方行政は、地方分権と三位一体改革が進められ、多くの課題がある中、多様化する市民ニーズを厳粛に受け止め、皆様の負託にこたえるべく責務を遂行し、積極的に政策提言を行ってまいります。

塩尻市は第四次総合計画で目指す都市像「ともに築く自立と創造の田園都市」の実現に向け、大きく前進しております。

特に、市の懸案事業であります。(仮称)市民交流センターにつきましては実施計画が終了し、いよいよ本年は着工の運びとなります。知恵の交流を通じた人づくりの場として、新たな価値が創出される施設とするため、市議会といたしまして、より慎重な審議・提言を行ってまいります。

終わりになりますが、市民の皆さまそれぞれのお立場で、明るく住みよい塩尻を築くため、活躍されることをご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

市議会トピックス

▼市の手数料見直し等に伴う3件を含む6件の条例改正案のほか、補正予算案等22議案を審議しました。

▼市民等からの請願・陳情の提出が8件あり、それぞれ委員会で審査を行い、採択された4件について市議会の意見書として政府及び関係機関へ提出しました。

12月定例会

11月27日
12月17日

平成19年 12月定例会概要

12月定例会では、議案審議に先立ち、市長に対して、7つの会派の代表者による「代表質問」と、7人の議員による「一般質問」を行いました。

《代表・一般質問の要旨は、4ページ～11ページに掲載》

審議された議案は、市長から提案された22議案のほか、議員提出議案1件と、4件の陳情採択に伴う意見書議案の計5件について審議を行いました。

《提出された議案名、議決結果は11ページをご覧ください》

◆主な議案の説明◆

○議案第1号

塩尻市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

し尿の収集、運搬及び処分並びに一般廃棄物の処理施設の利用に係る手数料を引き上げることに伴い改正するもの。

○議案第2号

塩尻市斎場条例の一部を改正する条例

斎場の使用料を27年ぶりに引き上げることなどに伴い、

必要な改正をするもの。

○議案第5号

塩尻市都市公園条例及び塩尻市榑川地区公園条例の一部を改正する条例

都市公園の特定利用行為に係る使用料、及び榑川地区の公園の使用料を引き上げることに伴い、必要な改正をするもの。

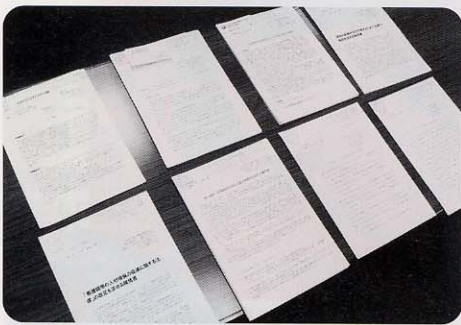
○議案第6号

塩尻市立洗馬児童館の指定管理者の指定について

塩尻市立洗馬児童館及び塩尻市ふれあいセンター洗馬の指定管理者の指定について

○議案第7号

塩尻市立洗馬児童館及び塩尻市ふれあいセンター洗馬の指定管理者を、社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会に指定するもの



市民等から提出のあった8件の請願、陳情書

12月定例会号 もくじ

新年挨拶、定例会概要	2P
委員会の焦点	3P
代表質問の要旨	4P～7P
一般質問の要旨	8P～11P
提出された議案及び議決結果	11P
市民の声、議会あれこれほか	12P

※請願・陳情とは…

市民の皆さんが、市政などについて直接市議会に要望する制度として「請願」と「陳情」があります。

「請願」は議員の紹介を必要としますが、「陳情」は議員の紹介を必要としません。

請願と陳情は、内容により関係する委員会で審査し、請願は本会議で、陳情は委員会において最終的な決定をします。本会議等で採択したものは、市長や教育委員会などの執行機関に対し実現に努力するように求めます。

各定例会毎審査を行っているため、定例会招集日(初日)の前日を提出期限としています。(詳しくは、議会事務局までお問い合わせください)

委員会の焦点

～委員会審査報告から～

都市公園条例改正案 などを審査

経済建設委員会

経済建設委員会で都市公園条例及び榑川地区公園条例の一部を改正する条例案や平成19年度一般会計補正予算案など5議案のほか、追加提案された人事院勧告に伴う同年度一般会計補正予算案など5議案を審議し、原

案通り認めることとしました。都市公園条例に関する改正案については、委員が自販機の占用料実績や電気料の実情などを質問。これに対し、平成18年度決算額で126万円の占用料収入があったことや、電気料は自販機の設置者が負担することを説明。また、通常の映画撮影の場合は、今回の条例では適応しないとの補足

説明もありました。平成19年度一般会計補正予算案については、委員から丘駅周辺整備事業や道路新設改良事業などに関して質疑があり、これに対して、広丘駅用地取得費の増額について、東口広場の用地を土地開発公社から取得して来年度からの整備工事に備えたいなどの答弁がありました。



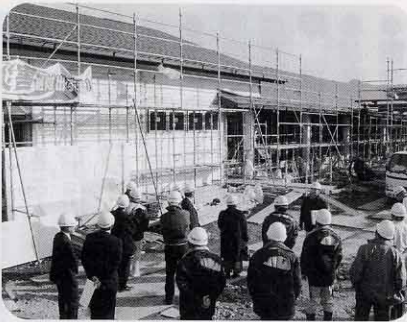
市内に27箇所ある都市公園
(塩尻北部公園：広丘原新田)

洗馬児童館の 指定管理者を指定

福祉教育委員会

当委員会に付託された案件7件であり、慎重審査の結果いずれも原案のとおり認める事としました。洗馬児童館及びふれあいセンター洗馬の指定管理者の指定については、相手方を社会福祉法人塩尻市社会福祉協議会とし、

指定の期間を平成20年4月1日から平成25年3月31日までと定めるものです。職員体制は現在社協と調整中であるが、児童館は施設長1名、児童厚生員2名が義務付けられており、ふれあいセンターは施設長のほか支援員や看護師などが予定され、両施設とも必要に応じてパート等を採用していくとの説明がありました。



委員会審査後、ふれあいセンター洗馬
建設現場や、市内福祉施設を視察

平成19年度の一般会計補正予算では北部子育て支援センター及び吉田児童館分館の改修工事は合計で1千596万円との説明を受けました。木曾漆器館の展示室改修工事については県の交付金を充てたとの説明があり、委員より今後市民向け講座等も含めPRに努めてほしい旨の要望がありました。

手数料・使用料を見直し

総務環境委員会

本定例会で当委員会に付託された案件は条例案件4件、予算案件3件で慎重審査の結果、いずれも原案のとおり認める事としました。廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例は、し尿の収集、運

搬及び処分並びに一般廃棄物の処理施設の利用に係わる手数料の見直し、また、斎場条例の一部を改正する条例は、使用料を見直すもので、特に斎場使用料については、昭和54年以降の改正となるものです。使用料、利用料などについては、受益者負担の原則や他市の状況を加味して改正をす

る旨意見が出されました。一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例は、人事院勧告に基づき給料の改定をするものです。継続審査の請願1件は趣旨採択、議員提出議案は可決、陳情4件は採択、1件は不採択となりました。今後も、市民サービス向上に向け委員会として取り組んで参ります。



手数料の見直しにより、衛生センター
施設利用手数料も改正された。

代表質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです。

会派名	市民派連合	明政会	新政会	市政同志会	和の会	公明党	日本共産党
-----	-------	-----	-----	-------	-----	-----	-------

市民派連合

質問者 永田 公由

丸山寿子・今井英雄
小野光明・古畑秀夫
石井新吾・永井泰仁

質問時間70分

新年度予算は歳出削減を断行

◆予算編成方針について

問 厳しい財政状況の中で、平成20年度予算編成方針の基本的考えは。

答 国庫補助負担金等が削減傾向であるが、歳出で扶助費や退職手当等の増加が見込まれる。大型事業もピークを迎えており、財政支出が拡大する。新規事業は緊急的なものを除き抑制していく。経常経費は5%マイナスシーリングとし、ソフト事業は厳選とスクラップによる予算とする。

◆後期基本計画の主要事業は

問 平成22年から26年までに見込まれる主要事業は。

答 公共施設の耐震診断、耐震改修事業、学校、保育園等の設備、新体育館建設、クリ

ンセンター大規模改修等の事業である。

◆市消防団の組織体制は

問 団員定数の見直しが必要ではないか。

答 現在、各分団に部、団員数、車両等の見直し計画を策定するよう要請している。新年度から本団の副団長を2人とする方針がでている。

◆防災行政無線の整備は

問 平成23年に現在の防災無線が使用できなくなるが。

答 デジタル化にあわせ、同報無線等のシステムについて検討している。

◆区よりの事業要望は

問 事業の施行できない箇所の理由を報告してほしい。

答 現地調査時に話をしているが区長会等で説明したい。

◆環境美化活動の推進は

問 クリーン塩尻パートナー制度の進捗状況はどうか。

答 現在、6事業所、1小学校、2地区から申し込みがあり、田川や公園の美化活動が始まった。PRに努めたい。

◆塩尻ロマン大学大学院は

問 ロマン大学の卒業生の継続した活動の場として、ロマン大学大学院を検討しては。

答 市民活動の進捗からも、意義のあるものであり、ロマ

ン大学の在校生、卒業生の意向を聞く中で研究していく。

◆中心市街地活性化計画は

問 この計画の期間と実現性はどうか。

答 この計画期間は5年間で実効性に重きがおかれている。地域全体をブランド化

◆塩尻地域ブランド戦略を

問 実施するには、専門的部署を設置し本格的に取り組んで。

答 担当する事務事業や現状での関連部局との関係も含めブランド関連を統括して運用できる組織として、設置に向けて検討していく。



市民総ぐるみの雪かき運動についてより市民に理解を得られる努力を

◆除雪対策は万全か

問 市民総ぐるみによる雪かき運動を展開しているが、市民の理解と協力は。

答 区長会で除雪の協力をお願いしている。また広報の折

●代表質問とは？

2人以上所属する“会派”の代表者が、毎年の12月定例会と一般選挙後の最初の定例会で行います。
(各会派の質問時間は〔基礎時間40分＋（会派所属議員数－1）×5分〕となっています）

●会派とは？

市議会の中で、主義、主張を同じくする議員で構成された団体のこと。現在7つの会派があります。
1人でも会派を作ることはできますが、代表質問をすることはできないことになっています。

込チラシでPRしている。個人所有の機械による除雪作業に助成を行っていく。

◆シンボルゾーンの整備は

問 社会情勢の変化を踏まえ基本計画の見直しが必要ではないか。

答 都市計画マスタープランの改定の中で国、県の計画との整合性や議会、地権者会の意見を聞き慎重に判断したい。

◆団塊世代の生きがいづくり

問 団塊世代の皆さんが農業体験できる場をつくっては。

答 農業体験ができる場合は市民農園、ねこの手クラブ、考える農業学習塾がある。今後JA等の協力を得て、農業体験事業について研究していく。

◆団塊世代を地域の担い手に

問 団塊世代の退職者を対象に地区役員の皆さんを通じて支所等に人材登録をしてもらい、それまでの経験を生かし地域の担い手として活動してもらってはどうか。

答 地域のネットワークを利用して人材を発掘することは団塊世代を地域の資源としていく一つの手法であり、地域づくりに携わっていく過程の一つと考えられる。区長会議、支所長会議等で研究していきたい。

明政会

質問者 塩原 政治

古厩圭吾・五味東條
森川雄三

質問時間55分

文書管理の充実

◆文書管理の意識向上は

問 国を含め、文書管理に関わる不祥事について、どのように認識しているのか。

答 文書主義により、事務執行をしている行政においては、極めて重要であると認識している。文書管理についての不祥事が度々続いて起きていることは誠に問題であり、一番の原因は、職員の法令遵守の意識の甘さではないかと認識しており、職員の意識の向上や電子データ管理等については、さらなる対策が必要であり、今後十分検討していきたい。

◆記録の管理は

問 記録管理については。
答 さまざまなご提案をいただいたが、将来的には、総合

文書管理システムを導入することを考えている。電子システム化することにより、作成文書の履歴も明確化され、記録された情報の検索も容易となり、記録の管理も適正に行われるが、導入経費やデータベース化の作業が膨大になることから、現在研究中である。

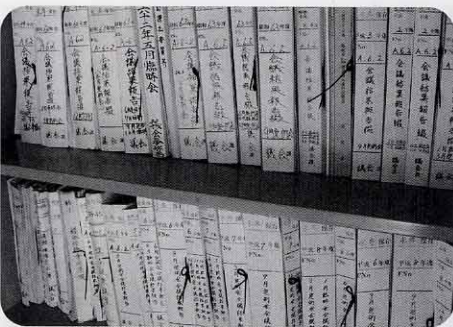
在宅医療を行う「在宅時医学総合管理料」の届け出は、在宅療養支援診療所と合わせて七つの医療機関が登録している状況で、指定訪問看護事業所は、三事業所である。医師と看護師をどう確保していくのか、大きな課題があり、県における、医療費の適正化計画や地域ケア整備事業の内容を注視しながら、松本地区医療包括推進協議会等関係機関と連携を図りながら、在宅医療の充実を図りたい。

◆在宅医療の充実は
問 24時間体制で往診を行う在宅療養支援診療所が市内に何力所あるのか、また指定訪問看護事業所は何力所あるのか。

答 平成18年の医療法制改正で新設され、24時間体制で、在宅ケアや在宅医療の中心的な役割を担う「在宅療養支援診療所」は、現在三医療機関であり、24時間体制ではないものの、難病や特定疾患の在

◆全国学力調査の分析は
問 本年4月全国学力・学習状況調査が実施されたが、学力テストについての、しっかりとした分析を行い、子供たちへのきめ細かい指導を行うなどといった形で、教育の質の向上に役立てるためにも、教育課程におけるPDCAサイクルを確立しなければならぬと思うが。

答 今回の調査の目的は、他との比較ではなく、児童生徒の現状を把握し、今後の指導に活用することであり、各学校において、随時、個人の結果をもとに担任・児童・保護者による三者懇談会等の実施や、「学校だより」などで自



文書管理意識の向上と記録管理のシステム化の研究を

校の概要を伝えていきたい。

新 政 会

質問者 牧野 直樹

金田 興一・金子 勝寿

質問時間50分

具体化する まちづくり

◆ 広丘駅周辺のまちづくりは

問 広丘駅周辺における土地利用の高度化と公共施設を中心としたまちづくりの考えは

答 土地の高度化利用については、コンパクトで持続性可能なまちづくりを推進するための課題のひとつであるので都市計画マスタープランの改定に合わせて検討していきたい。また、公共施設を集中させたまちづくりの考えは今のところないが、既存施設を改修し、施設の有効利用を図る等の検討をしていきたい。

◆ 塩尻駅周辺の都市再生は

問 塩尻駅周辺の整備計画とまちづくりについては、民間投資の実現性や回遊性をどのように持たせていくのか。

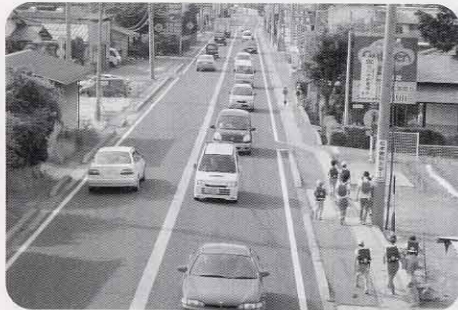
答 塩尻駅周辺では、緑豊か

で都市機能が充実された駅前を創り出すためのゾーニングや、土地の高度化を検討しており、民間からの提案も複数寄せられている。また、回遊性については、塩尻駅、市役所周辺、商店街を結び、みちづくりモデル事業を計画している。

◆ 国道19号の四車線化は

問 事業化決定されていない高出差差点まで残り3・3kmの事業化の見通しはどうか。

答 真に必要な道路であると認識しており、地元及び関係者とともに国や関係機関に対し事業化の要請を継続的に実施している。



4車線化の事業化決定がされていない
国道19号高出差差点より北

市 政 同 志 会

質問者 中原巳年男

太田 茂美・中野 長勲

質問時間50分

塩尻市の 住環境整備 充実に向けて

◆ 市内産業別景気動向

問 長引く景気低迷に加え、原油高騰などにより業種間に格差があるが対策は。

答 日銀景気短観によると製造業でD-1が+9、建設業-13、卸・小売業-32、運輸-17、飲食・宿泊-9であり、年末資金需要への協力を市内金融機関に商工会議所と共に要請した。

◆ 新入札制度について

問 新入札制度導入により平均落札率が低下しているが、競争性、公平性、透明性は高まっているが、今後見直しの時に評価項目を検討する。

答 競争性、公平性、透明性は高まっているが、今後見直しの時に評価項目を検討する。

◆ 有害図書等自販機条例

問 議員有志による市内小中学校の教職員、保護者へのアンケート調査の結果、条例制定を望む声がほとんどだった

が現状は何処まで進んでいるか。

答 青少年育成環境を充実させる事が目的であり、条例案について長野地方検察庁と資料交換等の協議をしている。

◆ 地域見守りシステム事業

問 小学校での児童見守りシステムの申込みが少ないが、周知の方法や、適応エリア、費用負担についての説明が足りないと思うがどうか。

答 文書や出向いて説明している。実証実験であるが今後エリアの拡大や、中学生、高齢者に対する見守りシステムとして充実して行く方向も検討していく。

◆ 人口7万人の市づくりは

問 人口減少傾向にあるが、第四次総合計画の人口目標達成の為の方策は。

答 定住人口増は行政運営上重要であり、企業誘致や中心市街地、広丘駅周辺整備などの対策、起業家支援などが人口増に繋がるものと考ええる。

◆ 子育て環境の充実

問 子どもを生みやすい環境づくりが大切であり、妊婦検診の無料化の拡大や、出産の出来る病院の確保や小児科の充実が必要だと考えるが。

答 出産までに14回程の検診

が必要であり現在2回の公費負担を平成20年4月より県下統一で5回とする事が決まった。8月には出産・子育て支援の充実の為、松本地域産科・小児科医療検討会が設置され対策を進めている。

◆ 市内の産科の現状は

問 市内の出産を受け入れている二施設への支援と助産師外来の設置はできないか。

答 医療圏単位で考えられている、病床数や医師対策など総合して考える必要がある。

◆ 塩尻ブランドについて

問 ナイヤガラ、メルローなどの晩腐病対策のハウス補助が13では少ないと思うが。

答 反収などで考えると需要が伸びないと考えられるが様子を見ながら検討したい。



地域児童見守りシステム（試作品）

和の会

質問者 白木 俊嗣

中原輝明・青柳充茂

質問時間50分

都市計画税

見直しの検討を

◆都市計画税について

問 都市計画税は目的税であり市街化区域に住む者だけに課税されている。次の理由により見直すべきだと思つた。

① 固定資産税の外に課税されており、試算すると固定資産税の25パーセントが都市計画税である。

② 評価額は市街化区域と調整区域では50倍と高い。

③ 以前市街化区域内の下水道整備をしたことからといって税率を引き上げた経過もあったが、現在調整区域もそれ以外の区域も100パーセント近く下水道整備は終了している。

④ 本来一般事業の外に目的税に見合つた事業を上乗せすべきである。昭和47年から

100億円以上納めているがこれに見合つた事業をしてきたか。

⑤ 市街化区域内における街路、公園、区画整理、下水道など快適な住環境や都市基盤整備がされたと言つたが、街路、公園、下水道などは一般財源で全市取り組んでいる。以前小坂田公園整備にも充当して来たが市街化区域内の者が納めた税金を調整区域内の小坂田公園に充当するのはおかしい。

⑥ 市街化区域内に住んでいる者は都市基盤の整備が済んだ土地をそれなりの価格で取得しており、事業用資産でなく大方の者は居住用資産であり応益税として都市計画税を付加するのは問題ではないか。

以上の理由から下水道は100パーセント整備された現在では私は全的に広く浅く課税すべきと思つたがどうか。

答 都市計画税は市街化区域内の都市計画を進めている。都市基盤の整備により生活環境の向上が図られるとともに、土地の高度利用により資産価値が高まったその受益関係から応益税として都市計画税を課税している。

◆健全財政について

問 平成18年度決算では実質単年度収支は3億7千万円余の赤字であり財政構造の弾力性を示す経常収支比率は82.5パーセントである。財政調整基金も20億円余と減少している。又借金残高は一般、特別会計その他を含めると、700億円からの借金をかかえているが健全財政の基準とは何か。

答 経常収支比率、財政力指数や実質公債費比率などにより毎年決算分析を行っている。その数値は一定の状況にあり又経常的な主要経費のここ数年の推移を見ても扶助費は増加傾向にあるものの、人件費、公債費、物件費は横這いで推移するなど一定の財政水準を維持している。



市街化区域に課税されている都市計画税の見直しを

公明党

質問者 中村 努

山口恵子

質問時間45分

福祉・農業

知恵を出す時代

◆経常収支比率目標の修正

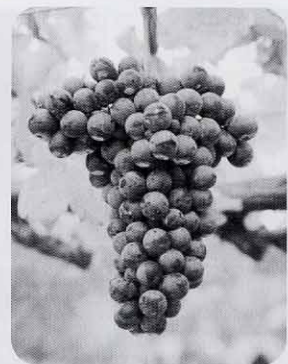
問 70%〜80%の適正基準はいつ頃からか。少子化対策や高齢社会対策のため福祉向上のためには85%ぐらいに緩和しても、市民にとっては良いのではないか。

答 昭和44年の指標が採用されている。インフラ整備が完了した自治体ではよいかもしれないが、当市では必要な事業を選択し、バランスの取れた財政運営をしていきたい。

◆農業を儲かる産業に育成
問 大分県大山町農協視察で、小規模農家でも十分な収益をあげられることを学んだ。塩尻市で取り組める事は何か。

答 日本中が悩んでいる農業問題について解決の道筋の一つを見た思いだ。人づくりを

晩腐病に強いビジュノワール
(農林水産省ホームページより)



大切に、農業を経営する人材の育成と環境設備が課題であり、JA等関係機関の積極的な取り組みと市のバックアップが必要だ。

問 ぶどうの新品種である食用の長野パープル、加工用のビジュノワールの拡大栽培に積極的に取り組むべきでは。
答 理想的には新品種への改種が良いと思われるが、結果樹となるまでに年数も掛かり、農業従事者の高齢化や後継者不足から、進まない現状だ。

◆ごみ処理について

問 ごみ処理手数料の使い方は、税金補填ではないはずだ。ごみ減量の意識啓発ならば、もっと市民にわかりやすい還元の方法を考えたらどうか。

答 多くの市民から、徴収した手数料の用途についてごみ処理費用として明確に使われるべきとの意見で、分かりやすい財源充当としている。



年間240万人が訪れる大山町農協の直売所「木の花ガールテン」(大分県日田市)

問 ごみステーションの資源物の所有権が曖昧で、持ち去り等がある。条例化が必要ではないか。

答 今後の検討課題としたい。災害時のごみの発生量は想像以上だ。焼却施設の破損も想定して、松本広域の災害時ごみ処理協定を作るべき。

問 災害時のごみ処理は、県が仲介することになっているが、広域連合の協定も提案していきたい。

◆多重債務者救済業務の充実

問 貸金法改正により上限金利が引き下げられたことで、消費者金融も資金力が低下し、貸し渋りが増えやミ金へ手を出す市民が多くなると思われる。行政による融資制度の先進成功事例があるかどうか。

◆米価暴落への対応について

問 自治体主導の多重債務者救済融資制度を盛岡市で行っており、大変興味深い。本市の規模では困難と考える。

答 内容の公開できない会談は良いとはいえない。参議院選後の国会は民意を反映した議論がされており、ねじれとは思わない。

◆米価暴落で市内農家への影響と対策は。米価暴落の背景、原因をどう見るか。

問 輸入自由化によるコメ輸入の増加、消費量減少のもと、生産調整の不調で構造的生産過剰の状況。市農協の入札価格は前年比7〜6%下落している。政府による備蓄米の買い増し、JAの特別対策資金による利子補給などが行われている。国へ安定政策を要望するとともに農家の経営力を高める支援を行っていく。

◆「後期高齢者」周知方法は

問 後期高齢者医療制度について政府の言う凍結とはどのようなものか。今後の市民への周知はどのように行なっていくのか。

答 これまで保険料がかかっていた「被用者保険の被扶養者」について2年間均等割り保険料5割軽減を1年目の半年間については無料とし、残り半年は9割減免するとうもののである。周知については、広域連合で保険料が決まってきたので、できる限り具体的な情報を個別に該当者に通知していく。

◆両小野国保病院経営見直しは

問 両小野国保病院は18年度5千7百万円余の赤字決算となった。必要な医師数が満たされていない事態とも聞くが。

答 入院、外来の減少と診療報酬引き下げ、医師休職などにより、昨年を上回る赤字の見込み。住民、地元議員による経営研究委員会で意見集約を行っている。4月には新しい方向で進めていきたい。

◆「健全育成」対策は幅広く

問 青少年健全育成にかかわり、有害自販機以外の全国的調査は行われているか。ネット、携帯電話等への健全育成上の対応策や「青少年が利用活動できる施設」の設置状況調査等の情報交換が必要では。

答 「自販機」以外の一斉調査は行われていない。「有害自販機」規制条例化を契機に市民の関心を高めて行きたい。

日本共産党

質問者 鈴木 明子
柴田 博

質問時間45分



経営が悪化している両小野国保病院



市民からの申請により、手話通訳や要約筆記通訳による傍聴もできます。



議場の傍聴席だけでなく、市役所1階市民ホールでテレビ画面による生中継を行っています。

議会公開の取り組み

塩尻市議会では、「市民に開かれた議会」を目指し、様々な形で活動を公開しています。

市政を問う!!

質問者

- 山口恵子
- 金田興一
- 永井泰仁
- 古畑秀夫
- 森川雄三
- 柴田博
- 青柳充茂

一般質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです



市民の健康を考える

◆健康に向けて予防接種を

問 今年の春、10〜20歳代に麻疹の大流行があったが、法律の改正により一回しか受けていない子供が多くいると思うがどう対応するのか。(山口)

答 平成20年4月1日から中学1年生と高校3年生に、追加接種を、公費で実施の予定。

◆インフルエンザの予防接種
問 65歳以上の高齢者インフルエンザ予防接種料の個人負担の無料化を。(永井)

答 高齢者の予防接種状況は、平成16年頃から60%を超える接種率となっており、千円の自己負担は、近隣市町村と連携する中で定めてあり、現行どおりでお願いしたい。

◆無料化拡大についての考えは
問 子どもの医療費無料化を、就学前までで終わりとせず、今後も順次拡大していく考えはあるか。(柴田)

答 財源の確保という点で間違いないように研究していきたい。

◆小児医療費無料化拡大を

問 子育て支援策として対象年齢の拡大の考えはどうか。学校で行われる健康診断の結果からも、疾病の慢性化や悪化を防ぐため、又アレルギー疾患が多く複数の疾患や長期化の為、安心して医療を受けられるよう支援が必要ではないか。(山口)

答 平成18年度に制度を拡大したばかりであり厳しい財政状況の中、当分は現状を継続してまいりたい。

◆社会保障の財源は

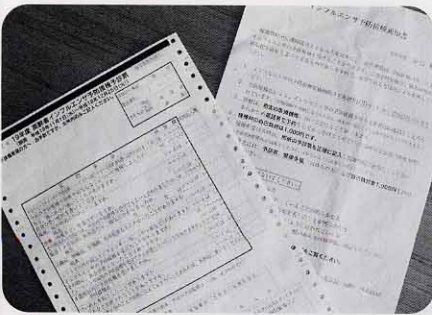
問 社会保障をがまんするが消費税の増額か。国は公然と社会保障の維持と消費税増税をてんびんにかけ、国民に痛みを選択を迫っている。市長はこのようなり方についてどう考えるか。(柴田)

答 社会保障制度は、財源によって左右されてはいけない。消費税増税の前はまだまだやることがあると考える。

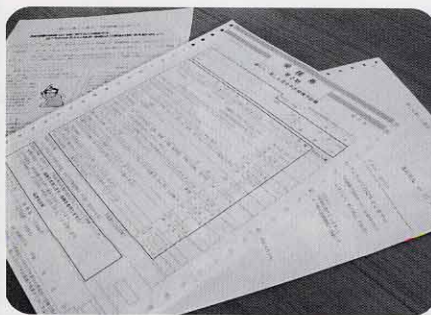
◆国保証未交付世帯はあるか

問 国保事業において、短期保険証の期限切れにより保険証が未交付になったままの世帯はないか。(柴田)

答 短期証交付世帯の約44%と対話ができています。残りの世帯については期限がくる前に郵送しているため、国保証



高齢者インフルエンザ予防接種予診票



4月1日から中学1年生と高校3年生に麻疹予防接種の追加接種を実施



市民の健康づくりの窓口
(保険福祉センター1階、健康づくり課)

が未交付の世帯はない。

◆保育園の統合問題

問 榑川保育園へ統合する方針が示された理由、また地元説明会での状況をどのように捉えているか。(森川)

答 市内各保育園と同様に適正規模の保育を推進するため統合する方針だ。幼・保・小学校連携による一貫した市の理念を基に最良の立地場所として提案したが、贅川地区にとっては以前からの経過等により反論が多く出されたと理解している。

問 反対の意見書また反対の署名簿の提出に対する行政の今後の対応は。(森川)

答 思いの深いことは強く受け止めているが、贅川地区を中心に粘り強く、市の教育方針を説明したい。

問 示された統合案を再度検討する考えはないか。(森川)

答 榑川保育園への統合が、立地場所として最善と考える。

問 行政が責任をもって、地域の皆さんの理解を得ていただきたい。(森川)

答 時間がかかると思うが、努力していきたい。

子ども達に
健やかな
教育環境を

◆市長の給料の見直しは

問 議会では議員定数や政務調査費と一緒に、議員報酬の見直しを始めた。市長の給料はいつ見直すのか。(青柳)

答 私の代で見直す考えはない。

◆「有害自販機」ゼロ達成は

問 条例制定で自動的に実現するのか。強い意思と市民の協力が不可欠だ。また、「世の悪風に染まる事なかれ」という明治の教育者の遺訓も忘れてはいけない。(青柳)

答 条例制定とともに考えた

◆部落差別の解消を

問 国の責任で解決しなくてはならない課題では。(古畑)

答 我国の重大な人権問題で国民的課題であり、差別解消に向け努力していく。

◆食農教育を

問 小中学生に農業体験を。(古畑)

答 食の大切さや農業の重要性を子供たちに認識させる大切な機会であり、今後も

農業体験学習等に取り組む。

◆鳥獣被害対策は

問 電気柵の設置や緩衝帯の整備実績と効果は。(古畑)

答 電気柵は個人9件、団体5件で総延長は約14km、緩衝帯整備事業は67.2haを整備した。サルレンジャー事業も被害防止効果が上っている。

公共施設の
あり方に
ついて

◆新体育館建設について

問 アンケート調査の結果や規模等の考えは。(永井)

答 新体育館の建設を望む人が35%で、もっと高い結果が出ても良いと思っていた。

建設を望む人の思いを大切に、無関心層の人には、体育館の多目的利用等の必要性を理解して頂くのも課題。建設場所や規模は、体育館建設研究委員会で研究中であり、交通の利便や駐車場の確保、中途半端な施設にしない等の意見もあり、結果は提言書として提出される。先進地の和光市総合体育館は、19億8千万円で建設されており、財政負担を20億円程度に圧縮する案

も選択肢として検討する。

◆市役所本庁舎改修方法は

問 免震か制震か耐震か。慎重に検討されたい。(青柳)

答 後15年は使用できるような改修方法を検討したい。

◆市民交流センターの整備費は

問 総額でいくらか。(青柳)

答 連絡通路や平面駐車場、家具備品など含めると58億5千万円、市の負担額は13億3千2百万円となる。

問 総額は60億円に迫り、10億円と決めた市の負担額もかなり超えている。圧縮策が必要と思うのでさういふ意識でやってほしい。(青柳)

◆市街地再開発に関する民間の動きについて

問 具体的な情勢については？(金田)

答 個別事業については限界があるが、商店街関係者と連携の上配慮していく。

問 センター建設期間中の騒音対策や集客策は。(金田)

答 工事関係者にも要請し十分注意していく。除雪等県と連携し事故防止にも努める。

集客は、商店街が中心に行うよう働きかけ、従来と一風変わったイベントを考えている。

◆えびの子大橋開通に伴う周辺道路の安全対策は



12月に開通したえびの子大橋 (広丘吉田)



現市立体育館の耐震改修工事



現在の榑川保育園 (木曾平沢)

問 カーブミラーと横断歩道の設置を。(金田)

答 カーブミラーは既に設置した。横断歩道は難しい。橋下西の直線区間、追い越し禁止に。(金田)

問 今後の状況を見ながら検討していく。

◆塩尻ブランドの構築・発信

問 シティープロモーションの取り組みは。(金田)

答 塩尻市の認知度を高め、魅力ある都市を目指す中で考えていく。

◆地域振興バスの改善を

問 洗馬線での時刻変更や、榎川診療所より贅川へ帰るのに待ち時間が長い、「田川の郷」の近くへ停めてほしいなどの要望がある。(古畑)

答 利用状況、利用者の実態調査を参考に検討していく。

◆防災士養成の考えはないか

問 災害対策で緊急時の初期対応に、人命救助のエキスパート防災士が必要では。(山口)

答 防災力アップに大変重要であり職員研修を実施、市民の養成講座の補助を研究する。

12月定例会に提出された議案及び議決結果

市長提出議案（22件）

番号	件名	議決結果
議案1号	塩尻市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
2号	塩尻市斎場条例の一部を改正する条例	原案可決
3号	塩尻市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	原案可決
4号	塩尻市立小学校、中学校条例の一部を改正する条例	原案可決
5号	塩尻市都市公園条例及び塩尻市榎川地区公園条例の一部を改正する条例	原案可決
6号	塩尻市立洗馬児童館の指定管理者の指定について	原案可決
7号	塩尻市ふれあいセンター洗馬の指定管理者の指定について	原案可決
8号	平成19年度塩尻市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
9号	平成19年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
10号	平成19年度塩尻市水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
11号	平成19年度塩尻市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
12号	平成19年度塩尻市農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	原案可決
13号	塩尻市一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
14号	平成19年度塩尻市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
15号	平成19年度塩尻市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
16号	平成19年度塩尻市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
17号	平成19年度塩尻市国民健康保険榎川診療所事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
18号	平成19年度塩尻市水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
19号	平成19年度塩尻市下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
20号	平成19年度塩尻市農業集落排水事業会計補正予算（第3号）	原案可決
報告1号	損害賠償の額の決定の専決処分報告について	報告受理
2号	平成18年度及び平成19年度財団法人塩尻・木曾地域地場産業振興センターの経営状況を説明する書類の提出について	報告受理

議員提出議案（5件）

番号	件名	議決結果
議会1号	後期高齢者医療制度に関する意見書	原案可決
2号	保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書	原案可決
3号	深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める意見書	原案可決
4号	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める意見書	原案可決
5号	国立病院の存続・拡充を求める意見書	原案可決

請願処理状況（2件）

番号	件名	採決結果
9月1号	高齢者の医療制度に関する請願	趣旨採択
12月1号	米価の安定対策を求める請願	継続審査

陳情処理状況（陳情7件）

番号	件名	採決結果
12月1号	保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書（案）採択に関する陳情	採 択
12月2号	後期高齢者医療制度の中止・撤回を求める陳情	不 採 択
12月3号	深刻な医師不足を打開するための法律の制定を求める陳情	採 択
12月4号	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正を求める陳情	採 択
12月5号	国立病院の存続拡充を求める意見書採択を求める陳情	採 択
12月6号	ならい荘の健全化を願う陳情	不 採 択
12月7号	市民交流センター建設の見直しに関する陳情	不 採 択

健康に気遣い、今日まで歩み続け、多少自信もあり、まだまだ若いつもりでいたのに、気がつけば年とともに悪玉コレステロールは増え、膝が痛み出し、運動不足にならないようにと続けている

体の管理

こうして

た早朝の散歩もやめてしまった。医者にかければ、検査、薬で数千円がすぐに飛んで行く。



吉田四区 五島 宗紀さん

った状態です。

もこの近いところによく利用できるこれらの施設がほしいと思う。病気になるったり、動けなくなると入る施設ももちろん必要ですが、そうなる前のそうならない為の気軽に利用出来る施設をほしいと思う今日この頃である。

市民の声

原新田公民館育成部のボランティアとして、小学生対象の活動を仲間と行っています。子供達の真剣にそして笑顔で取組む姿に、毎回元気をもらっています。

子供達を守るために



原新田 秋恵さん

今の子供達を取りまく状況は厳しく、犯罪に巻き込まれるニュースも絶えません。辛い塩尻市では大きな事件はありませんが、不審者情報が度々出されていて不安です。小学校では「自分の命は自分で守る」を子供に教えていますし、PTAによる見回りも行っていますが、自分達で出来る事にも限りがあります。

春から始まる地域児童見守りシステムのモデル事業では我が子の居場所がわかる様になります。システムを導入しただけでなく、是非より良い運用がなされ、安全で安心して子育ての出来る塩尻市である様に、今後も支援をお願い致します。

市議会レポート

12月10日(月)・17日(月)

12月定例会本会議に手話と要約筆記の通訳者が入りました

12月10日と17日の本会議に、手話と要約筆記(パソコンによる文字表示)の通訳者が入り、傍聴している聴覚障害者や難聴者も審議内容がわかるように、通訳をしていただきました。

通訳者は、事前に傍聴希望の方から申し込みをしていただき、派遣しております。(議会事務局FAX番号)

【議会事務局FAX番号】(0263) 52・3969

傍聴席での要約筆記



3月定例会の予定

2月27日	招集日
3月 5日	一般質問
6日	
7日	
10日	委員会審査
11日	
12日	
13日	
3月17日	最終日

日程は変更になる場合があります。間近になりましたら議会事務局へお問い合わせください。(ホームページでもお知らせしています) 議会事務局 TEL (0263)52-0280(内線1411) URL http://www.city.shiojiri.nagano.jp



10月29日 福祉教育委員会・市教育委員会 校長会との懇談会

市議会常任委員会と市内団体との意見交換会 市議会では、今後の塩尻市をより発展させるため、各団体等と意見交換を活発に行っています。

10月29日(月)

福祉教育委員会・市教育委員会・学校長会との懇談会

11月30日(月)

経済建設委員会と市農業委員会との懇談会

議会あれこれ

◆ノーベル平和賞は環境問題への取り組みが評価されたゴア前米国副大統領が受賞。小さな積み重ねが大きな結果を生むことは、環境も財政も同じこと。本当に必要な？無駄はないか？次回、三月議会の予算審議を前に、改めて「必要」を問い直したい。

◆この本会議の一般質問での「コマ。ある議員の「インフルエンザを防ぐための身近な方法は。」との質問に、市民環境事業部長より「うがいをしつかりることが大切である。」との答弁があった。皆でうがいをしっかりと、この冬を乗り越えよう。

◆「議会あれこれ」の内容について議論が白熱した。「主義・主張」「会派の立場」「議員の考え」活発な意見交換によって、議員達が自ら作り、全国的に誇れる市議会だよりとなる。

更に質の向上を目指し、今後も活発な編集会議にしたい。

議会広報委員会

- ◎中原 昌男 ○石井 新吾
- 金子 勝寿 山口 恵子
- 古畑 秀夫 青柳 充茂
- 五味 東條 柴田 博

◎委員長 ○副委員長